

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 7月10日更新

事務事業名		社会教育委員活動事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	3	教育の健幸		所属部	教育委員会事務局	課長名	渡辺 良輔
	施策	10	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	前田 純子
	業務分野	35	学習の啓発と参加機会の提供		所属班	生涯学習班	(内線)	1502
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10766	法令根拠	社会教育法 第15条 合志市社会教育委員に関する条例
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	社会教育委員の活動に対する支援を行う。社会教育委員は旧合志町・西合志町とも昭和26年から、社会教育の振興のため設置された。
【業務の流れ】	社会教育委員会議を行い、市へ生涯学習振興策の提言を行う。また、社会教育の各研修・大会等に参加し、先進的取組みを見聞し、本市の生涯学習の指針を検討する。
【主な予算費目】	報償、旅費、役員費、負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

【目的】社会教育委員の活動支援を行う。
 【内容】社会教育委員(定数12人以内)の会議を開催し、社会教育に関し助言を行う。
 【実績】第1回合志市社会教育委員会議を7月に開催した。9月25日に第69回熊本県公民館大会・令和6年度熊本県社会教育研究大会合同大会阿蘇地区大会に9名が参加した。
 【成果】通常開催の会議に加え、熊本県社会教育研究大会に参加することができ、知識の向上が図れた。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

①合志市社会教育委員会議の3回開催 ②菊池郡市社会教育連絡協議会への参加 ③各種社会教育研究大会等への参加 ④熊本県社会教育委員協議会年2回

③予算の主な増減の理由

熊本県社会教育委員協議会に伴う報酬及び旅費の増

成果指標

ア 教育委員会からの諮問に対する答申の数

(単位)

件

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
教育委員会からの諮問に対する答申の数	件	0	0	1	0	1	1	1	0
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円	361	370	477	399	483	483	483	483
(A) 事業費計	千円	361	370	477	399	483	483	483	483

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

通常開催の会議に加え、第69回熊本県公民館大会・令和6年度熊本県社会教育研究大会に参加することができた。平成28年度から合志市社会教育委員長が菊池郡市の連絡協議会理事、また令和5年度は熊本県の連絡協議会理事となり、広域での社会教育情報を入手できた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)